

野球場の再編(案)について

令和5年6月9日

文化・スポーツ部 「スポーツのまち」づくり課

都市計画部 公園緑地課

目次

1. 背景と目的	3
2. スポーツ施設の整備についての考え方	4
3. 野球場の現状.....	5
4. 課題認識	7
5. 野球場の再編について	8
6. 豊橋総合スポーツ公園への野球場整備について	9

1. 背景と目的

本市のスポーツ施設の多くは、1970年代以降順次整備されてきましたが、老朽化が進行しているほか、ニーズの多様化などスポーツを取り巻く環境が変化していることから今後のスポーツ施設のあり方についての検討が必要となりました。そこで、本市では令和3年3月に策定した『豊橋市「スポーツのまち」づくり推進計画』において各スポーツ施設の整備の方向性を整理し、計画的に施設の改修などを進めているところです。計画の中で、野球場は老朽化が進んでいる施設について改修や建替えの検討の際に複合化・集約化を進めることとしています。

本市の野球場は、昭和23年に豊橋球場が整備され、長きにわたり本市のメイン球場の役割を担っていましたが、昭和55年に岩田運動公園内に豊橋市民球場が整備され、現在ではプロ野球や高校野球などの集客を伴う試合は、主に市民球場で開催されるようになりました。

日常的に市民がプレーを楽しむ野球場としては、豊橋球場や東田球場などがあり、他の競技での使用も含め安定的に利用されている一方、駐車場の不足や、照明設備の光害問題、練習用のグラウンドの不足、球場外へのボールの飛び出し対策など、利用者や近隣住民から多くの改善を求める声をいただいている状況です。

このような背景に加え、総合体育館の老朽化、スポーツ施設や防災活動拠点としての機能の強化・充実、プロスポーツやエンターテインメント、コンベンションなどの集客によるまちづくりへの寄与といった観点から、多目的屋内施設を豊橋公園に整備することとなり、既存施設を含めた公園内の施設配置を検討する必要が生じました。

以上のことから、本資料は、豊橋球場の移転を含めた市内の野球場全体の再編について利用状況などを踏まえ検討し、整備の方向性を示すことを目的とします。

2. スポーツ施設の整備についての考え方（「スポーツのまち」づくり推進計画）

令和3年3月に策定した「スポーツのまち」づくり推進計画「スポーツ施設の整備の方向性」において、公共施設総合管理方針を踏まえスポーツ施設全体の整備の考え方を整理しており、野球場については、「改修や建替えの検討の際には、複合化・集約化を視野に入れた検討をしていく」としています。

《基本的な考え方》

1. 主な広域的な施設の改修

市内のスポーツのほか広域的な大会が行われ、「する」スポーツの拠点となっているだけでなく、プロスポーツの興行やトップアスリートによるイベントも行われる総合体育館、屋内プール・アイスアリーナ及び市民球場については、ニーズや実態を踏まえながら、新たな時代に見合った改修を行うなど、計画的に施設の充実を図ります。

2. 各施設のスポーツ施設の改修

主な広域的な施設以外の各地域の施設については、ニーズや実態を踏まえながら、計画的な改修を行います。

また、改修や建替えの検討にあたっては、施設の安全性や機能性、経済性といった基本的な項目、さらには将来を踏まえたニーズ、交通面や周辺施設も含めた立地状況などを考慮した上で、豊橋市公共施設等総合管理方針の考え方を踏まえ、他施設との複合化・集約化などにより利便性を向上させるなど施設の充実を図ります。

3. 新たなスポーツ施設の整備

新たなスポーツ施設を整備する場合は、他施設との複合化・集約化を視野に入れた検討を行い、施設の充実を図ります。

《施設種別ごとの方向性（抜粋）》

施設種別	方向性
野球・ソフトボール場	利用者数が少ない施設や施設の老朽化が進んでいる施設について、改修や建替えの検討の際には、バリアフリー化や複合化・集約化を視野に入れた検討をしていきます
多目的運動広場	暫定的にスポーツ利用している場所であるため、適正に維持管理をしていきます
未整備エリア (総合スポーツ公園)	利用目的が定まっていないエリアについて、市内のスポーツ施設の複合化や集約化も視野に入れたスポーツ施設の再配置を進める中で検討していきます。

3. 野球場の現状

(1) 施設の概要

豊橋球場、東田球場はいずれも開設から 70 年を経ており、老朽化が進んでいます。

《施設の概要》

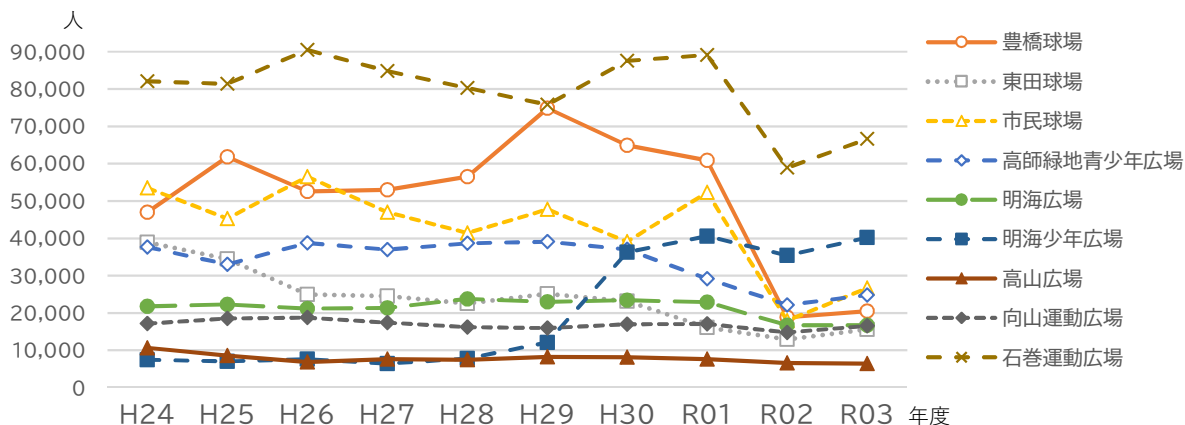
施設名	開設年	備考
東田球場	1940 (S15)	野球 1 面
豊橋球場	1948 (S23)	野球 1 面 (少年野球の場合 3 面) (硬式可)
高師緑地青少年広場	1966 (S41)	野球 2 面
市民球場	1980 (S55)	野球 1 面 (硬式可)
明海広場	1980 (S55)	野球 2 面
高山広場	1981 (S56)	野球 1 面
明海少年広場	1983 (S58)	少年野球 3 面 (硬式可)
向山運動広場	1984 (S59)	ソフトボール 1 面
石巻運動広場	1990 (H 2)	野球 4 面
臨海運動広場	1995 (H 7)	ソフトボール 1 面
かもめ広場野球場	1999 (H11)	少年野球 2 面

(2) 利用状況

ア 利用人数

新型コロナウイルス感染症の影響により令和 2 年度、3 年度は利用人数が落ち込んだものの、徐々に回復傾向にあり、全体を通して概ね安定した利用があります。特に、石巻運動広場 (4 面)、豊橋球場 (少年野球 3 面) 及び高師緑地青少年広場 (2 面) など、利用面数が複数面確保できる施設は、大会・リーグ戦等で多く利用されることから利用者数が多い傾向にあります。また、市民球場は、高校野球・社会人リーグの場として安定的な利用があることから利用者数が多くなっています。

《野球場・ソフトボール場利用者数の年度別推移》



※かもめ広場野球場は、利用者数の統計が無いため掲載していません。

※臨海運動広場は、ソフトボール場のみ利用者数の統計が無いため掲載していません。

イ 稼働率

豊橋球場、東田球場、市民球場は大会での利用が多いことから、土日・祝日の稼働率が高い傾向にあります。また、豊橋球場は平日の稼働率も高くなっています。

《野球場の稼働率》

施設名	平成 30 年度				令和元年度				令和 3 年度			
	平日 (全日)	平日 (夜間のみ)	土日・ 祝日	全体	平日 (全日)	平日 (夜間のみ)	土日・ 祝日	全体	平日 (全日)	平日 (夜間のみ)	土日・ 祝日	全体
豊橋球場	56.6%	75.1%	56.6%	75.1%	56.6%	75.1%	56.6%	75.1%	38.4%	60.4%	50.1%	42.8%
東田球場	28.0%	20.2%	61.4%	40.5%	18.3%	1.0%	49.4%	29.6%	24.1%	3.7%	40.0%	30.0%
市民球場	17.3%	11.5%	70.0%	36.5%	28.2%	24.3%	68.8%	42.2%	20.9%	7.7%	68.8%	38.7%

* 表の見方

- ・ 稼働率の計算方法 年間利用回数 / 年間利用可能回数
- ・ 施設の利用可能時間 午前 9:00~12:00 午後 13:00~17:00 夜間 17:00~21:00
(※豊橋球場、東田球場の夜間利用は 18:00~21:00)

※ 公共施設白書にて稼働率が掲載されている施設のみ掲載しています。

※ 新型コロナウイルス感染症の影響が大きい令和 2 年度の稼働率は除外しています。

ウ 利用種目

硬式野球ができる施設は、豊橋球場、市民球場、明海少年広場に限られており、豊橋球場・市民球場は硬式野球の利用割合が高くなっています。野球・ソフトボール以外の種目は、グラウンドゴルフなどのレクリエーションスポーツで利用されています。

《各施設で行われている種目》

(申請件数)

施設名	硬式 野球	軟式 野球	少年 野球	ソフト ボール	グラウン ドゴルフ	ベタンク	レクリエ ーション	ゲート ボール	その他	計
豊橋球場	171	89		2	5	2			6	275
東田球場		106		1	65				21	193
市民球場	107	33		2					26	168
高師緑地青少年広場		821		115	202		1	14	16	1169
明海広場		497		32					3	532
明海少年広場			415							415
高山広場		496		5					1	502
向山運動広場				746					1	747
石巻運動広場		582		88	314		1		104	1089
臨海運動広場		34		88						122

※ 令和 3 年度施設予約システムの申請件数・種目に基づき集計しています。

※ 「少年野球」として集計している項目は、硬式野球と軟式野球を含みます。

※ かめ広場野球場は、施設予約システムで受付を行っていないため掲載していません。

4. 課題認識

(1) 施設の老朽化への対応を検討する必要があります

豊橋球場及び東田球場は、一部施設の改修等を行っているものの、施設全体として年々老朽化が進んでおり、利用者の安全な利用のため、引き続き改修が必要な状況です。

(2) 施設の周辺地域への配慮が必要です

豊橋球場と東田球場は住宅地周辺に立地しており、近隣へ光害等の影響が生じています。特に東田球場は、球場外へボールが飛び出すことに対し、安全面で不安を覚える市民の声もあります。

(3) 硬式野球の活動の場が不足しています

硬式野球の利用ができる施設は豊橋球場、市民球場及び明海少年広場に限定されています。また、利用方法について、市民球場は天然芝の養生のため試合形式のみに制限されているほか、明海少年広場は施設の規模により少年野球のみに限定されています。さらに、土日・祝日は大会利用により各球場の予約が埋まることが多く、硬式野球の練習等の活動の場が不足している状況です。

また、公式戦の際には練習等でサブグラウンドを利用することが一般的であり、石巻運動広場のように大会開催等において複数面活用できる場を求める要望もあります。

(4) 高齢者のスポーツ活動の場を確保していく必要があります

マレットゴルフ、ターゲットバードゴルフで利用されていたグリーンスポーツセンターが、施設の老朽化等に伴い令和3年度末に廃止されたほか、ペタンクの大会等で利用のあるレクリエーションスポーツ広場は、保育園の建設に伴い令和5年12月に廃止が予定されており、レクリエーションスポーツをはじめとした高齢者のスポーツ活動の場について、改めて整理する必要があります。

5. 野球場の再編について

(1) 方針

多目的屋内施設の整備にあわせ、豊橋球場をはじめとした施設の野球場機能を集約した整備を行い、大会利用等での利便性の向上及び維持管理の効率化を図ります。

野球場機能を廃止する豊橋球場以外の施設については、レクリエーションスポーツなどで利用できる多目的広場として活用します。

《機能集約の検討》

施設	検討
豊橋球場	硬式野球・軟式野球ともに利用でき、稼働率が高い施設ではあるものの、老朽化・光害などの課題があり、多目的屋内施設整備に伴い移設します。
東田球場	軟式野球、グラウンドゴルフなど年間約 15,000 人の利用がありますが、老朽化・ボールの飛び出しなどの課題があることから、野球場機能を豊橋球場の移設にあわせ集約して整備し、本部席、屋外照明等の附属施設を廃止することで建物等の維持管理コストの削減を図ります。 跡地は、多目的広場として活用します。
市民球場	広域的な大会が行われているほか、プロ野球をはじめとした「みる」スポーツの場として活用されているため、今後スコアボードの LED 化の検討など段階的に機能充実を図りつつ、計画的に維持保全を行っていきます。
各広場	フェンスが低いなど、野球利用の際に安全面で不安のある広場については、豊橋球場の移設にあわせ、新たに整備する野球場へ段階的に利用の移行を促していきます。

(2) 整備場所

野球場が複数面設置可能な広さがあり、豊橋球場で発生していた光害などの影響が小さい場所に整備する必要があります。また、豊橋球場の解体に伴う大会開催等の利用への影響を小さくする必要があることから、「スポーツのまち」づくり推進計画において、スポーツ施設の再配置を進める中で用途を検討することとしていた豊橋総合スポーツ公園（平成 6 年度都市計画決定、事業認可）B 地区の未整備エリアを整備場所とします。

(3) 整備面数

豊橋球場、東田球場の利用が賄える施設であることに加えて、硬式野球のできる施設が不足していることを踏まえ、硬式野球、軟式野球がともに利用できる野球場及びサブグラウンド 2 面の計 3 面を整備します。

6. 豊橋総合スポーツ公園への野球場整備について

(1) これまでの検討経緯

本市では、これまで豊橋総合スポーツ公園の整備について、平成2年度、22年度、27年度に方向性を示してきました。

年度	計画等	内容
H2	豊橋総合スポーツ公園基本計画 豊橋公園整備構想	豊橋公園にあるスポーツ施設を、順次、豊橋総合スポーツ公園へ移転。豊橋公園は「歴史と文化の公園」として整備
H22	豊橋総合スポーツ公園・豊橋公園整備の方向性について	豊橋総合スポーツ公園に大規模な競技施設をすべて集約するのではなく、豊橋公園の既存のスポーツ施設、文化施設を最大限に活用
H27	豊橋公園・豊橋総合スポーツ公園整備の方向性について	豊橋総合スポーツ公園のA地区を「屋内スポーツゾーン」、B・C地区を「屋外で高い市民ニーズに対応したスポーツゾーン」として整備

(2) 豊橋総合スポーツ公園における野球場の整備場所について

平成27年度に示した方向性を踏まえつつ、「大規模多目的広場」として計画していた未整備エリアへ、豊橋球場に代わる野球場とサブグラウンドを整備することで野球場の集約化を図ります。(巻末の計画案参照)

(3) 野球場整備に係る概算事業費

豊橋総合スポーツ公園での野球場整備に係る概算事業費については以下の通りです。なお、類似事例などをもとに算出しているため、今後の資材・労務費の変動や設計内容により大きく変動する可能性があります。整備にあたっては、国の社会資本整備総合交付金等の活用を検討します。

概算事業費	備考
約13億円	用地購入費
約23億円	野球場・サブグラウンド整備、付帯施設整備

(4) 野球場再編に係る整備スケジュールの想定

公園名	整備内容	R5	R6	R7	R8	R9	R10~
豊橋総合 スポーツ公園	野球場 基本設計・実施設計	←→					
	用地取得		←→				
	サブグラウンド整備 及び付帯施設整備			←→		←→	
	野球場整備			←→			
(参考) 豊橋公園	豊橋球場解体		←→				

※豊橋球場の解体から豊橋総合スポーツ公園の野球場完成まで野球等の代替活動場所の確保に努めていきます。

H27年度の計画案



今回の計画案（配置イメージ）

